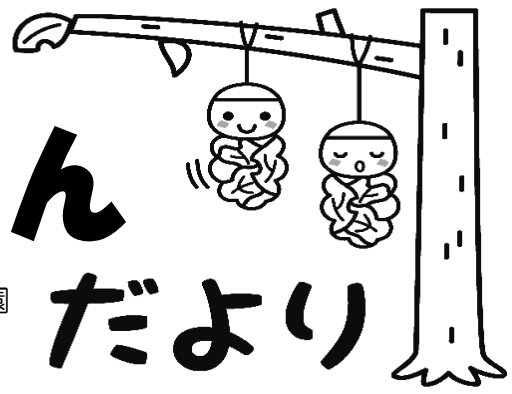




ほけん

平成28年11月10日 開南幼稚園
NO. 4



だより

きれいに色づいた葉がひらひらと舞い始めたと思ったら、急に寒さが厳しくなってきました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、十分な栄養と休息をとり、これからの季節を元気に乗り切りましょう。

せきやのどの症状が特徴的な病気

空気が乾燥していると、せきやたん、のどの症状が悪化するため、水分をとってのどを潤すようにしましょう。また、室内は加湿器などで適度な湿度を保つようにしましょう。

病 気 名	特 徴	症 状
扁桃炎	主にウイルス感染により、のどの奥の扁桃に炎症が起こったもの。2歳以上の子どもに多く、何度も繰り返すケースがある。	急に40度近い高熱が出て、扁桃が真っ赤に腫れ、のどの痛みのため食事もとりづらくなる。
クループ症候群	ウイルスなどにより、のどの奥深くの喉頭部に炎症が起きたもの。	呼吸が荒くなり声がかれる、ケンケンという犬の遠吠えのようなせきが出る。夜間に症状が悪化しやすく、重症の場合は呼吸困難を起こすこともある。
RSウイルス感染症	RSウイルスによる呼吸器感染症。秋から冬にかけて流行しやすく、炎症が起こる部位により、気管支炎や肺炎などを引き起こす。	発熱、鼻水、せきといった軽い風の症状から始まり、激しく咳き込み、ゼーゼーとせきをするようになる。
肺炎	ウイルスや細菌に感染し、肺に炎症が起こったもの。インフルエンザや麻疹など、他の病気の合併症として起こることもある。	原因の細菌やウイルスによって症状は異なるが、高熱と激しいせき、鼻水が特徴で、下痢や嘔吐を伴う場合もある。
気管支ぜんそく	アレルギー疾患の一つで、発作の原因は、かぜによる気管支の炎症やダニなどのアレルギー刺激、環境の変化、運動などさまざまである。	発作が起こると激しく咳き込み、ゼーゼーという喘鳴が出る。発作時は楽な姿勢をとらせ、背中をさすったりする。

